

主要国 財政構造・国際比較ハブ

日本は本当に「借金大国」なのか？データが語る5カ国の現在地

「世界一の借金大国」というノイズ

40%

原始債務データ (raw unfiltered debt)



前提の危うさ

「日本は世界最大の債務国である」—このフレーズは常識のように語られます。しかし、前提となる財政指標は、国によって会計方式も算出基準も異なります。

60%



錯覚

単純な数字の比較だけでは、国家財政の「実態」を見誤る危険性があります。

TK MAX プロトコル：結論は、あなたが組み立てる



The Objective (目的)

独立・非営利の研究用シミュレーター。
特定の結論を押し付けることなく、
IMF・OECD・各国統計機関の公表データ
を可視化。



The Stance (中立・不偏)

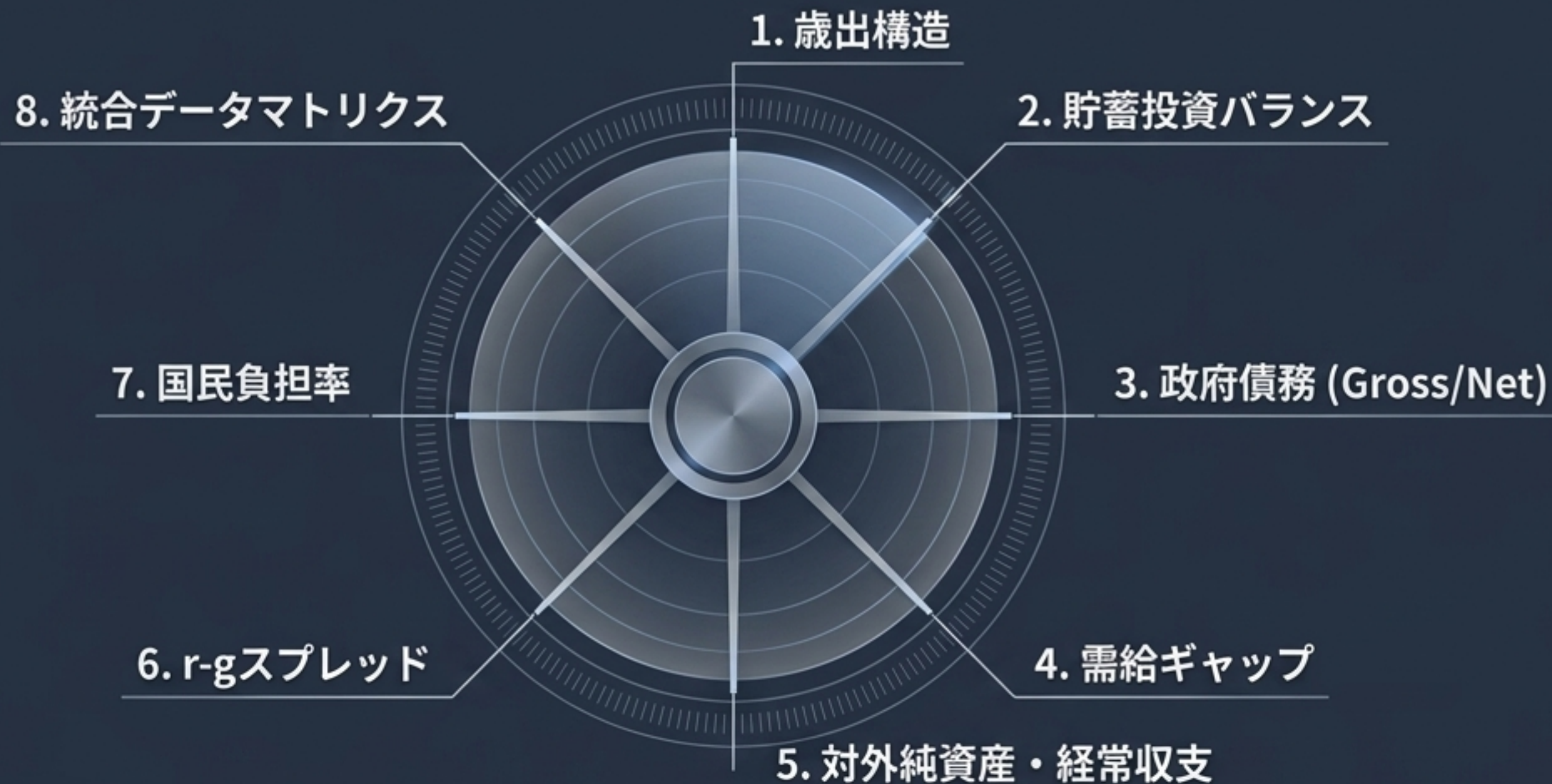
財政拡張論と慎重論。相反する2つの
視点を並置し、判断は完全に視聴者に
委ねる。



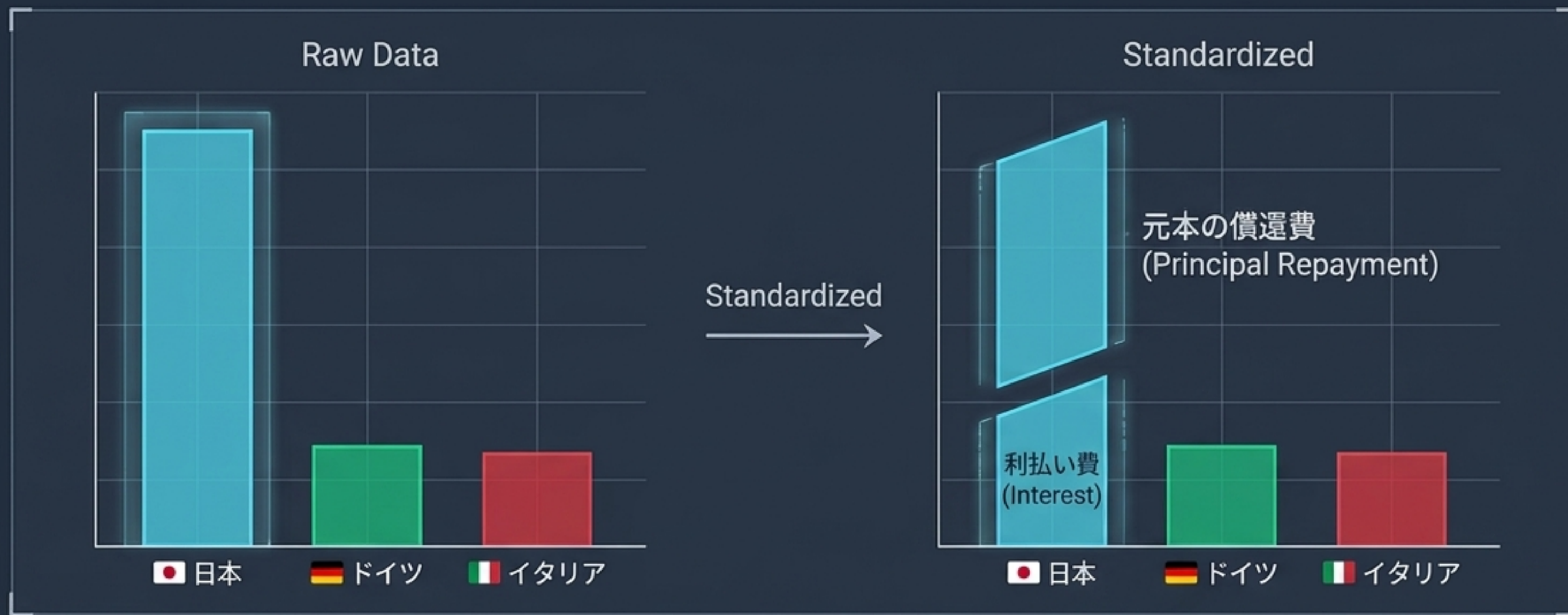
The Output (パズル)

私たちはパズルのピース（データ）を
提供するだけです。完成図を描くのは
あなた自身です。

5カ国 × 8つの診断軸



[Axis 1] 歳出構造：会計基準のズレを補正する



ドイツ・イタリア: 利払い費のみを歳出計上。

日本: 元本償還費を含めて計上するため、表面上の負担が膨張。基準を揃えれば国債費の比率は大幅に縮小。

イギリス: 歳出の約8%が国債費 (2025-26 OBR基準)。

[Axis 2] 貯蓄投資バランス：経済のシーソー



平常時はゼロ近傍



慢性的な大幅赤字



財政規律でゼロ近
辺を維持



企業+1.6% vs 政府-
3.4% (計-1.8%)



トラス・ショック
(2022) で-15%へ急落

[Axis 3] 政府債務：グロスとネットの「冰山」

🇯🇵 日本:

グロス 213%

→ ネット 75% (一般政府)

→ ネット 65% (経済全体・家計企業含む)。見かけの3分の1以下に圧縮。



アメリカ:

グロス 139%

→ ネット 105%。

Gross Debt
(表面上の総額)

Net Debt
(金融資産を差し引いた実態)

🇮🇹 イタリア:

グロス 140~150%程度。

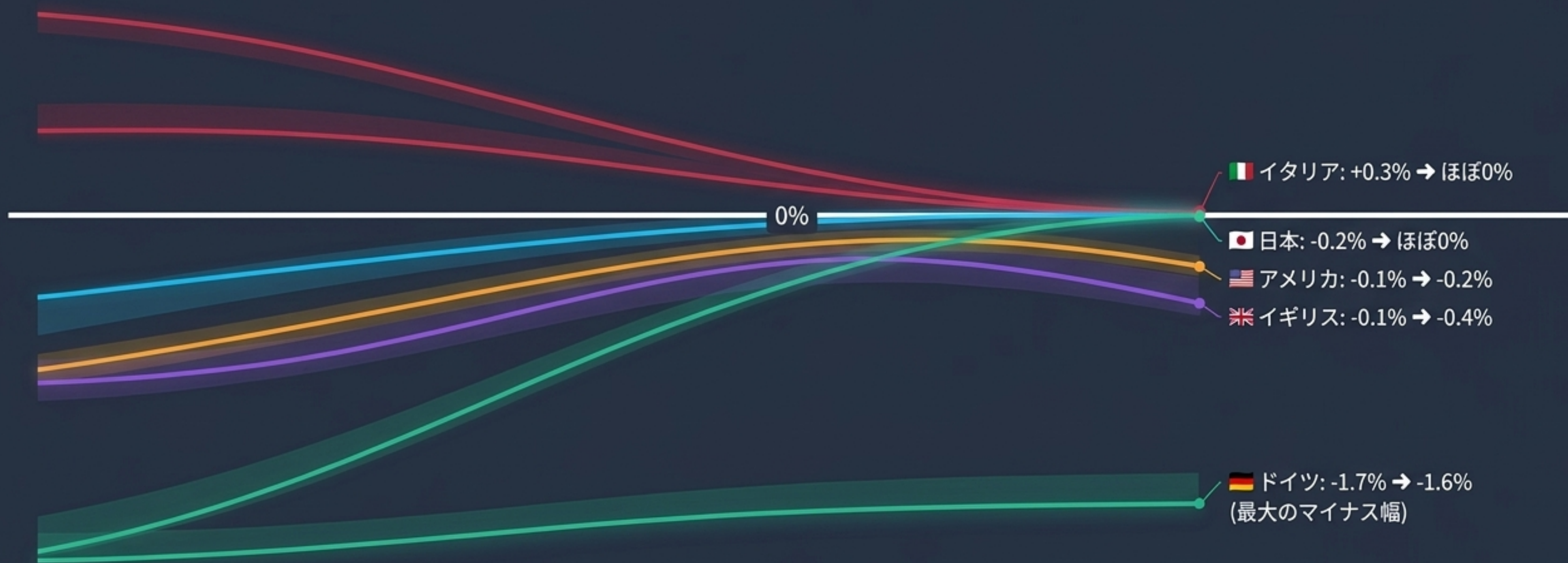


イギリス:

グロス 101.1% (IMF) / ネット 94.1%
(英国独自PSND・直接比較注意)。

[Axis 4] 需給ギャップ：ゼロへの収斂（しゅうれん）

経済の実際の需要と潜在的な供給力の差。最新のOECDデータ(2026予測)では、全対象国がゼロ近傍へ向かっている。



[Axis 5] 対外純資産：34年ぶりの歴史的転換

1位 🇩🇪 ドイツ

約3兆4,520億ユーロ（対GDP比 約80%）。
2025年に日本を抜き世界トップへ。

2位 🇯🇵 日本

約533兆円（対GDP比 約87%）。
34年守った1位の座を明け渡す。

世界最大の純債務国 🇺🇸 アメリカ

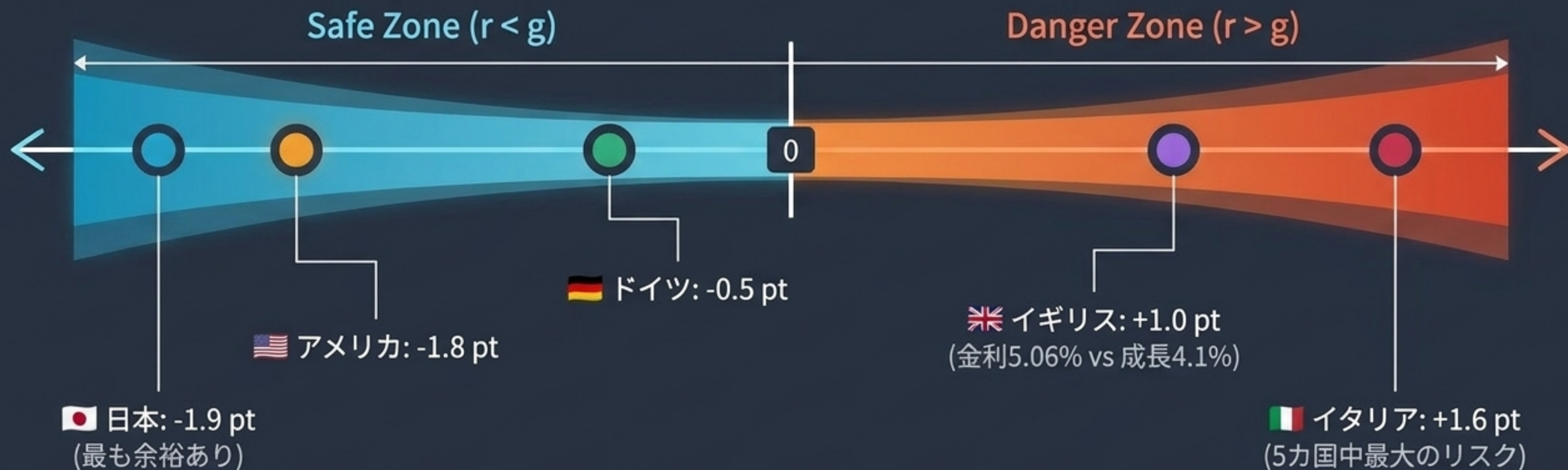
マイナス約27.5兆ドル（対GDP比 約-90%）。

※ 🇮🇹 イタリア (+15.5%) は一次資料未確認データを含むため留意。

※ 🇬🇧 イギリスは -5.0% (-9.7%から改善傾向)。

[Axis 6] r-g スプレッド：債務膨張の重力

金利(r)が名目成長率(g)を上回ると債務は自動膨張する。



[Axis 7] 国民負担率：分母のトラップ

租税と社会保障負担の割合。しかし、日本と他国では「分母」の基準が異なるため、直接比較はミスリードを生む。

基準A: 対国民所得比 (National Income)

 日本: 45.7% (潜在的負担率は48.4%)

基準B: 対GDP比 (Gross Domestic Product)

 イタリア: 42.8%

 ドイツ: 38.1%

 イギリス: 35.3% (※2022年データ)

 アメリカ: 25.2%

分母の違いを認識せずに表面的な%だけで「日本の負担は重すぎる/軽すぎる」と結論づけることはできない。

[統合データマトリクス] The Diagnostic Hub

	JP (日本)	US (アメリカ)	DE (ドイツ)	IT (イタリア)	UK (イギリス)
歳出構造	97%	+1.2pt	12.8pt	33.7%	12.7pt
S-Iバランス	-0.0pt	-0.9pt	-0.3pt	+1.6pt	+0.0pt
ネット債務	65-75%	47.8%	29.1%	60.1%	94.1%
需給ギャップ	-1.5%	-4.6%	-0.7%	-2.0%	-2.0%
対外純資産	-	純負債 (-90%)	1位 (80%)	-	-
r-gスプレッド	-1.9pt	-1.8pt	-0.5pt	+1.6pt	+1.0pt
国民負担率	45.7% (NI比)	25.2% (GDP比)	38.1% (GDP比)	42.8% (GDP比)	35.3% (GDP比)

2つの解釈レンズ：拡張か、規律か

財政拡張余地論 (例：会田氏の視点)

主張：日本には約30兆円の財政拡張余地がある。

根拠データ：ネット債務の相対的低さ（75%）。 $r-g$ スプレッドのマイナス定着（-1.9pt）。需給ギャップの縮小。

財政慎重論 (IMF / 財務省の視点)

主張：財政規律の維持と中長期的な再建が不可欠。

根拠データ：グロス債務の圧倒的高さ（213%）。急速な高齢化と社会保障費増大の確実性。将来的な金利上昇(r の反転)リスク。

結論は、あなたの手の中に。

データは一つの「正解」を提示するものではありません。

拡張による成長か、規律による安定か。

拡張による成長か、規律による安定か。

パズルのピースは揃いました。ここから先のシミュレーションは、視聴者ご自身の思考に委ねられています。

本コンテンツは公表データに基づく独立した分析目的であり、特定の政策や投資判断を推奨するものではありません。数値は今後の統計改定により変動する可能性があります。

Website <https://tk-max-site.vercel.app/> • **X** https://x.com/TK_MA55 • **Email** tk_max@ymail.ne.jp